

平成20年度議会からの提言

平成20年度、総務・文教福祉・生活産業・建設水道常任委員会では、所管事務について調査研究し、その結果を次年度以降の施策に反映されるよう1月15日(木)に市長に申し入れました。[報告の抜粋は以下のとおりです。]

総務委員会

入札制度について/電子入札は、費用対効果を検証しつつ慎重に導入すること。

人事評価について/人材育成につながる様々な手法を検証し見出すこと。評価する側の研修を十分行い、統一性のある基準によって評価すること。

庁舎管理について/西庁舎玄関の障がい者用駐車場に屋根の設置を。職員のエレベーター利用はルールを守ること。庁舎の管理・清掃は効率的に。

生活産業委員会

地球温暖化対策について/地球温暖化対策の啓発の促進。剪定樹木等の堆肥化の検討や街路灯に発光ダイオードの利用促進を図るなど独自の施策の展開を。

産業の活性化と観光振興について・第一次産業について一担い手サポート制度の検討や、鈴鹿ブランドのPRの促進を。
・観光産業についてF1開催継続の要請や、道路整備と交通手段の調整を。F1開催に伴う地元の問題は、現状把握と問題解決につとめること。各種イベントの協賛には実行委員会と協議し市としての主体性を発揮すること。

建設水道委員会

都市基盤整備施策について/下水道の使用料等受益者負担は、経営の健全化を進め、適正な受益者負担となるようにすること。公園整備等は必要な機能を的確に検討し、周辺市民や市民のニーズを反映したものとすること。都市計画道路等については、事業供用の早期化を促進すること。

文教福祉委員会

「救急医療」・「応急診療」について/来院する前に、専門的な知識を有する者が対応する電話相談等窓口について検討すること。既存の県電話相談ダイヤル等の紹介の啓発に努め、市民が安心して医療が受けられる行動マニュアル等も検討を。全庁的な体制で、健康づくり施設全体の取り組みとして、推進すること。市民レベルでの「健康づくり」に関するさまざまな活動に対し補助する等、市民の意識啓発、向上へのサポート体制を充実すること。医師会・歯科医師会等、関係機関との連携を更に深め、近隣市町との協力体制のビジョンを明らかにすること。



委員会活動状況

議会運営委員会・地震防災特別委員会・議会改革特別委員会等各委員会では、それぞれ所管の調査事項についての調査研究や行政視察をしました。

議会運営委員会

11月12日(水)~13日(木)

北九州市議会及び広島県三原市議会における予算・決算の審査についてを視察。



北九州市

地震防災特別委員会

11月10日(月)~11日(火)

消防庁舎について、宮城県登米市の消防防災センターと自主防災活動などについて仙台市を視察。



登米市

議会改革特別委員会

10月30日(木)~31日(金)

大分市議会における議員政策研究会について及び山口県周南市議会の委員会懇談会についてを視察。

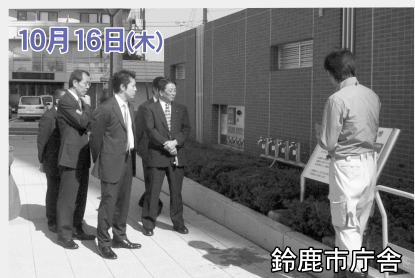


大分市

総務委員会

10月16日(木)

庁舎管理についての調査・研究のため、市役所施設の視察。



鈴鹿市庁舎

文教福祉委員会

10月17日(金)

鈴鹿市における応急診療の調査・研究のため、鈴鹿市応急診療所を視察。

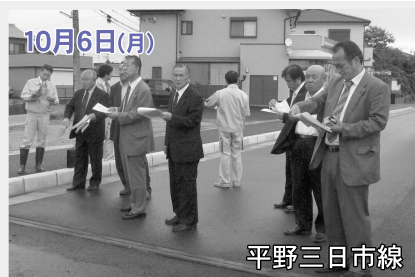


鈴鹿市応急診療所

建設水道委員会

10月6日(月)

道路等の事業早期推進のために、都市計画道路平野三日市線の現地を視察。



平野三日市線